

## 卒業生紹介



氏名 三浦 智

卒業年 平成4年3月電気科電気コース卒業  
(第28期)

出身中 大曲中学校

進学先 東北工業大学 工学部 電子工学科

現在 仙台市立仙台工業高等学校 教諭

### ◇現在、担当している仕事について教えてください

教師の仕事の中で電気科長をしながら、電気科職員と電気科生徒をまとめ、学校行事や電気科の行事を円滑に行えるよう計画しています。

また、電気系の様々な企業の方々との交流を大切に、常に生徒たちが新しいことにチャレンジできる環境づくりをしています。

### ◇どのような高校時代を過ごされましたか

陸上競技部長距離で、全国大会高校駅伝を目指し、毎日、欠かさず練習をしたのを覚えています。また、勉強も手を抜くのは嫌だったので、文武両道を努めるよう努力しました。

### ◇中学生にメッセージをお願いします

早いもので、高校を卒業してから27年が立ちました。私は、高校卒業後は大学へ進学し、すぐには教員という道には進まず、システムエンジニアという仕事に就きました。工業の専門的な知識が必要とされた仕事でしたので、日々の積み重ねがとても大切に感じたのを覚えています。ですが、いつからか、この知識を子どもたちに伝えたいという思いが強くなり、この道に進みました。北海道で教員を7年間、宮城県で教員を10年間、今年でこの仕事も17年目を迎えました。現在は、仙台市立仙台工業高等学校、電気科長として5年目、日々子どもたちの成長を感じながら、これからの日本の工業を支える人材育成に努めています。また、部活動の指導では、高校時代に経験した陸上部、現在、仙台工業高校の監督を受け持っています。毎年、東北大会では、大曲工業高校陸上競技部のその頑張りを目にし、本校（仙台工業高校）生徒もさることながら、母校の生徒の活躍を常に見守っています。（とても頼もしく感じています。）

さて、中学生の皆さんも、何かの目標を持って大曲工業高校に入学しようか考えているのではないかと思います。そして、将来は、電気の仕事に就こうか、大学進学を目指そうか、様々な思いで頑張っているのではないのでしょうか？私が高校生頃とは時代も随分変わりました。例えば、最近よく耳にする「自動運転車」の実験、コンピュータで受注し、ロボットが商品を集め、ドローンで配送する実験も始まっています。ますます機械が人間から仕事を奪う可能性が現実的になっています。背景には、コンピュータが予想以上の速さで進歩していることにあります。化学技術と人間の関係には、AIに使われるのではなく、使いこなして新たな価値を創造することに活路があると思えてなりません。もしかすると・・・教員という職もいずれロボットに・・・、学校も授業形態も大きく変わっていくことになるかもしれませんね。ですが、「知識」の伝達だけではなく、人間性は人間でなければ解決できない、人間の領域というか、それを問い、これからさらなる未来へ進まなくてはならないという思いであり、私は、それを誇りにいつも教員という仕事と向き合っています。

想像してみてください。皆さんの住む10年後の時代、どんな時代を迎えているのか？そして10年後、皆さんはどんな仕事をしているのか？多分、聞いたことのない仕事もあるかもしれません。その時に、自分の人生設計をしっかりと計画できる進路選択はとても大事になってきます。高校を卒業する時が、自分の新しい人生の扉を開ける瞬間だからです。

自分の行いや経験は、すべて蓄積され、あらゆることが無駄にはなりません。私たちは、今行っていることが、いずれ人生のどこかで身を結ぶと信じる必要があるのです。先の見えない不安が心の中に忍び寄ってくるがありますが、明日を恐れてはいけない、皆さんは明るい未来に向けた希望の光であり、将来の日本を背負う大切な力です。新たなことに挑戦することが、必ず明るい未来につながります。自信と誇りをもち、変化を受け入れる純粋な心とチャンスにつなげる行動力、限られた時間を精一杯生きていきましょう。

大曲工業高校はそんな未来を創造できる素晴らしい学校です。様々な経験と人とのつながりをはじめとした長い道のりを振り返るとき、数多くの点と点の集まりが思い出深く、そして皆さんに明るき光をはなっていることを大曲工業高校OBとして心から願っています。

仙台市立仙台工業高等学校 電気科長 三浦 智